



2018年7月31日

## 「自動解析プログラムを使用した映像解析による走行診断サービス」を クラリオン株式会社の「SAFE-DR」に提供開始

SOMPOリスクアマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）は、8月1日から、クラリオン株式会社の国内販売会社のクラリオンセールスアンドマーケティング株式会社<sup>(\*1)</sup>（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：前田博司、以下「クラリオンS&M」）が展開する業務用車両向けクラウド活用型車両管理サービス「SAFE-DR」<sup>(\*2)</sup>に対し「自動解析プログラムを活用した映像解析による走行診断サービス」（以下「本サービス」）<sup>(\*3)</sup>の提供を開始します。

\*1 会社の概要は<別紙>をご参照ください。

\*2 サービスの概要については、クラリオン株式会社の以下ニュースリリースをご参照ください。「SAFE-DR」はクラリオン株式会社の登録商標です。

「業務用車両向けクラウド活用型車両管理サービス「SAFE-DR」の提供を開始」

<http://www.clarion.com/jp/ja/corp/information/news-release/2018/0417-1/index.html>

\*3 本サービスの概要については、<別紙>をご参照ください。

### 1. 背景

平成29年に発生した交通事故件数は47万2,165件、交通事故による死亡者数は3,694名<sup>(\*4)</sup>と、年々減少傾向にあるものの、1日平均10名以上の尊い命が交通事故で失われているのが現状です。

特に運輸事業者や企業の営業車両など、業務で車両を使用する企業において、交通事故の防止は重要な課題です。集合研修や事故惹起者への指導といった従来型の交通事故防止活動に加え、AI<sup>(\*5)</sup>や各種センシング技術を活用し、事故が発生していない平時のドライバーの運転状況について正確に把握・分析することで事故を未然に防ぐ先進的な取組みが社会的に求められています。

このような背景もあり業務用車両へのドライブレコーダーや車両管理サービスの導入が進んでいるなかで、SOMPOリスクアは、クラリオンS&Mが展開する「SAFE-DR」に本サービスの提供を開始することとしました。

\*4 警察庁交通局「平成29年中の交通事故の発生状況」

\*5 Artificial Intelligence（人工知能）の略。

### 2. 今後の展開

SOMPOリスクアは、本サービスの提供を通じて、企業の自動車事故防止を支援してまいります。

#### SOMPOリスクアマネジメントについて

SOMPOリスクアマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とするSOMPOホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「ヘルスケア事業」「サイバーセキュリティ事業」を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、健康経営推進支援、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策、サイバー攻撃対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

---

S O M P O リスケアマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部  
自動車コンサルティング部 [担当：平野、島]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-5438（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

---

S O M P O リスケアマネジメント株式会社  
経営企画部 [担当：田所]  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル  
TEL：03-3349-5468（直通）

以上

<別紙>

1. クラリオンセールスアンドマーケティング株式会社について

本社所在地	埼玉県さいたま市中央区新都心 11 番地 2
代 表 者	前田 博司
事 業 概 要	クラリオン株式会社のカーナビゲーション・カーオーディオ・バス用機器をメインとした車載用情報・音響・映像機器等の販売

2. 本サービスの概要について

- (1) ドライブレコーダーの常時録画映像から、交差点走行中の「黄・赤信号通過」「一時停止不停止」の映像を自動抽出し、正しい運転行動及び指導ポイントを記載した指導用の「解析レポート」を提供します。
- (2) 具体的には、「交差点で赤・黄信号を通過してしまう」「一時停止標識・標示があるのに安全確認をせず通過している」といった危険な走行シーンを、録画映像から自動抽出します。  
(※交差点での「出会い頭事故」は、毎年全事故形態の約 25%を占めており、車両相互の速度が高いため、大事故につながるケースが極めて多いことから特に「交差点走行」に焦点を絞っています。)
- (3) 「映像解析サービス」の結果に基づき、SOMPO リスケアの専門コンサルタントが実施する安全運転講習会や事故防止活動コンサルティングなども提供可能です。